

J M R 調査レポート  
(2014 年度)

【 概 要 篇 】

2015年4月

東京基督教大学国際宣教センター  
日本宣教リサーチ

## まえがき

日本宣教リサーチが発足して、1年が経ちました。ここに、最初の年度調査レポートを発行することができ、感謝致します。

日本宣教リサーチは、「現代の日本におけるキリストの教会のあるべき姿をめざし、広く日本宣教に従事する教会・団体・個人との連携により活動し、教勢データの分析と日本宣教の研究を行い、日本の教会が直面する課題について根本的かつ現実的な提言を行う」ことを目的として発足しました。まだまだ力足らずで遅々たる歩みではありますが、ここに初年度の調査活動の成果として、次の2点をご報告させていただきます。

1. 2013年度全国キリスト教会の教勢
2. 来日宣教師の実態調査

1項の「全国キリスト教会の教勢」については、先に『データブック 宣教の革新を求めてーデータから見る日本の教会の現状と課題ー』（FCCブックレットNo. 8、2012）を発行しましたが、その続編として、今後継続した調査を毎年実施していく予定にしています。

「2013年度全国キリスト教会の教勢」には、『データブック』に掲載されなかった一部データの掲載を含め、『キリスト教年鑑 2015』の教団・教派のデータをもとにして、直接教勢データを提供していただいた教団・教派のデータを反映させて2013年度版として作成いたしました。また、1950年以降の教団・教派別教勢の年度推移のデータも作成してみました。

しかし、全国のキリスト教会の教勢を正確に把握するには、単立教会や小グループの教団・教派等、まだまだ現状の把握が十分にできていないのが実状です。今後、全国の教会の教勢を、より正確に把握するにはどうしたらよいか、引き続き検討課題として取り組んでいく必要があると思っています。

また、2項の「来日宣教師の実状調査」は、今現在、どの国から何人ぐらいの宣教師が来日され、どこで、どのような働きをされているのか、その実状を把握するために調査を行ったものです。調査に当たっては、日本福音宣教師団（JEMA）の多大なるご協力をいただき実施することができました。ここに厚く御礼申し上げます。

今回の調査は、『JEMA Directory 2014』に登録されている団体を対象としてアンケート調査を実施しましたが、結果としては、団体数で32%、宣教師数で37%からの回答でしたので、全容を把握するには、不十分であり偏りがあると言わざるを得ないと思いますが、それでも大まかな概要を知る手掛かりになるのではないかと思います。

これを機に、他の宣教師団体にも続けて調査の依頼をし、より全容の把握に近づくよう努めて行きたいと思っています。

日本宣教リサーチは、こうした調査を行い、賛助会員の皆様に日本宣教を考える上での客観的なデータの提供を行うことによって、日本宣教のパラダイム転換に少しでも寄与していければと願っています。賛助会員の皆様からも、どしどしご要望やご意見をいただきながら、さらにより良いものにしていけたらと思いますので、今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2015年4月

日本宣教リサーチ代表 山口 陽一（東京基督教大学大学院神学研究科委員長）  
日本宣教リサーチ専門委員 柴田 初男、花蘭 征夫

## 目 次

まえがき	2
第1部 教勢データ編	4
1. 1 日本のキリスト教全体の教勢	4
1. 1. 1 日本のキリスト教教勢の概数 (2013 年度)	4
1. 1. 2 日本のキリスト教信者の推移	5
1. 1. 3 日本のプロテスタント教会の教勢の推移	5
1. 2 教会員数・礼拝者数の分布 (2009年度)	5
1. 2. 1 全国プロテスタント教会の教会員数・礼拝者数の分布	5
1. 2. 2 各教団・教派の教会員数・礼拝者数の分布	5
(1) 日本基督教団	7
(2) 日本聖公会	8
(3) 日本福音ルーテル教会	8
(4) 日本基督改革派教会	9
(5) 日本バプテスト連盟	9
(6) 日本同盟基督教団	10
(7) 日本福音キリスト教会連合	10
(8) 日本ホーリネス教団	11
(9) 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴット教団	11
1. 3 教団・教派の教勢 (2013年度)	12
1. 3. 1 全国教団・教派グループ別教勢 (2013 年度)	12
1. 3. 2 全国教団・教派別教勢 (2013 年度)	13
1. 3. 3 教団・教派の教勢 (教会数 50 以上の教団・教派の教会数の多い順)	17
1. 4 教団・教派別教勢の年度推移 (1950-2010 年度)	18
1. 4. 1 教団・教派グループ別教勢の年度推移 (1950-2010 年度)	18
1. 4. 2 主な教団・教派教勢の年度推移 (1950-2010 年度)	20
第2部 来日宣教師の実状調査	21
2. 1 来日宣教師の現状	21
2. 1. 1 来日宣教師数のデータ	21
2. 1. 2 来日宣教師の年度推移	23
2. 2 来日宣教師の実状調査 (その1)	24
2. 2. 1 団体別一働き別集計	24
2. 2. 2 国籍別一働き別集計	24
2. 2. 3 任地都道府県別一働き別集計	24
2. 2. 4 滞在年数の分布	24

\* 上記目次は【詳細編】の目次になります。【概要編】は、上記目次のうちの一部抜粋編となりますので、ページ数は上記のものと一致しないことをご確認ください。

## 第1部 教勢データ編

### 1. 1 日本のキリスト教全体の教勢

#### 1. 1. 1 日本のキリスト教教勢の概数（2013年度）

2013年度の教勢として、公表されている教勢データを下記に示す。

但し、『クリスチャン情報ブック』は、2012年度のデータ。

表 1 キリスト教の教勢（『キリスト教年鑑 2015』（キリスト新聞社、2015年）

	教会数	教師数（うち外国人）	信徒数	信者数	備考
カトリック	991	1,409（543）	437,267	444,719	
オーソドックス	70	54	10,197	10,251	
プロテスタント	7,749	9,866（489）	566,980	576,846	
総数	8,810	11,374（1,042）	1,014,444	1,025,818	

表 2 キリスト教の教勢（各種資料）

	教会数	教師数	信徒数	信者数	備考
①カトリック	991	7,452	437,267	444,719	*教師数には修道者、神学生も含む
②プロテスタント	7,940			503,497	*6,612教会分から推定（2012年度）

\*①は『日本カトリック司教協議会イヤーブック 2015年』（カトリック中央協議会、2014年）による

\*②は『クリスチャン情報ブック 2014』（クリスチャン新聞、2014年）による

これらのデータから、2013年度の日本全国のキリスト教界全体の教勢の概数としては、次のように表すことができる。

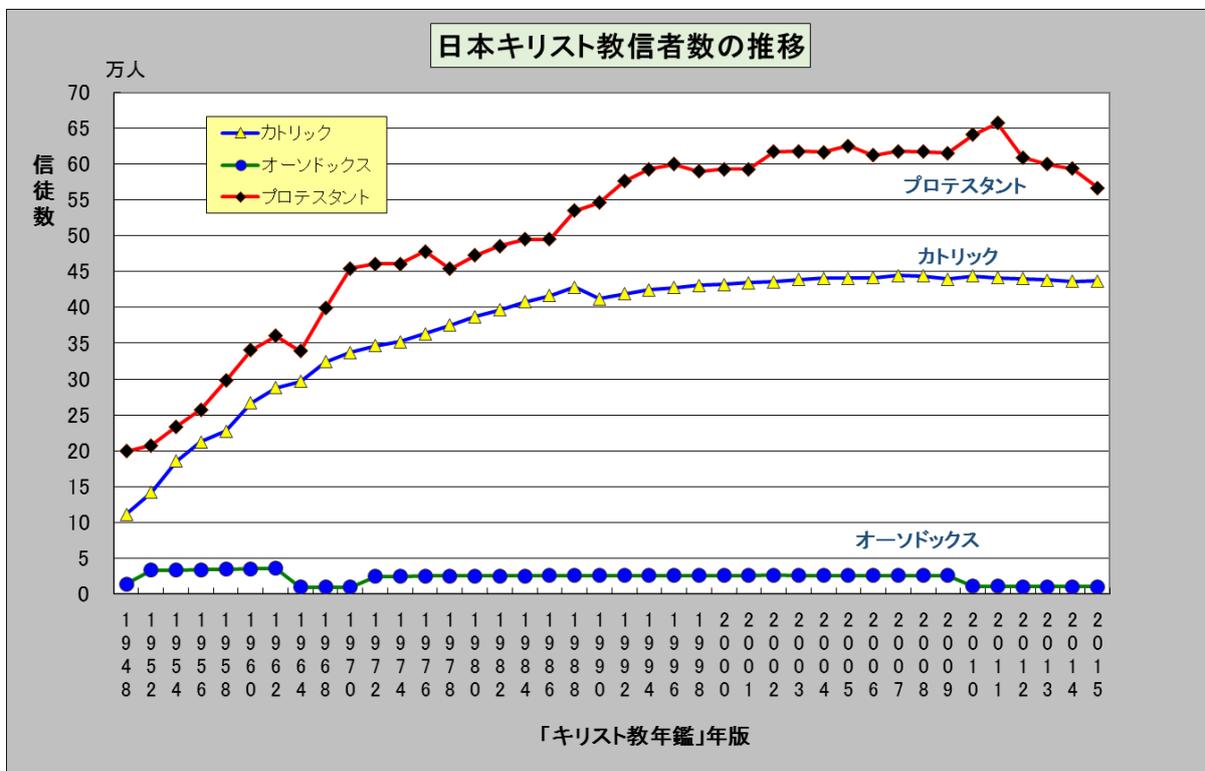
表 3 日本のキリスト教教勢の概数（2013年度）

	教会数	教師数	信者数	対人口比
カトリック	1,000	1,500人	45万人	0.35%
オーソドックス	70	50人	1万人	0.01%
プロテスタント	8,000	10,000人	58万人	0.46%
合計	9,070	11,550人	104万人	0.82%

1. 1. 2 日本のキリスト教信者の推移

『キリスト教年鑑』1948年版以降による日本のキリスト教信者の推移は、図1のようになる。2010年度以降、カトリック、オーソドックス、プロテスタントとも減少傾向に陥っている。

図 1 日本のキリスト教信者の推移



1. 1. 3 日本のプロテスタント教会の教勢の推移

図2に日本のプロテスタント教会の教勢の推移を示す。

教会数の推移としては、ほぼ横ばいかあるいは逆にやや減少傾向を見せている。しかし、教会員数は、2000年以降横ばい状況にあったが、2009年度をピークに、減少傾向に転じている。

また、参考までに、日本基督教団の教勢の推移を、図3に示す。

1. 2 教会員数・礼拝者数の分布 (2009年度)

1. 2. 1 全国プロテスタント教会の教会員数・礼拝者数の分布

プロテスタント教会全体の現状を示すデータとして、一教会当たりの教会員数、礼拝者数の分布を図4に示す。(『データブック 宣教の革新を求めて』より再掲)

1. 2. 2 各教団・教派の教会員数・礼拝者数の分布

主な教団・教派の教会員数・礼拝者数の分布を、図5に示す。

教会員数と礼拝者数の分布の特性値や、教会員数と礼拝者数との相関関係等から、各教団・教派の状況を窺い知ることができる。

図 2 日本のプロテスタント教会の教勢の推移

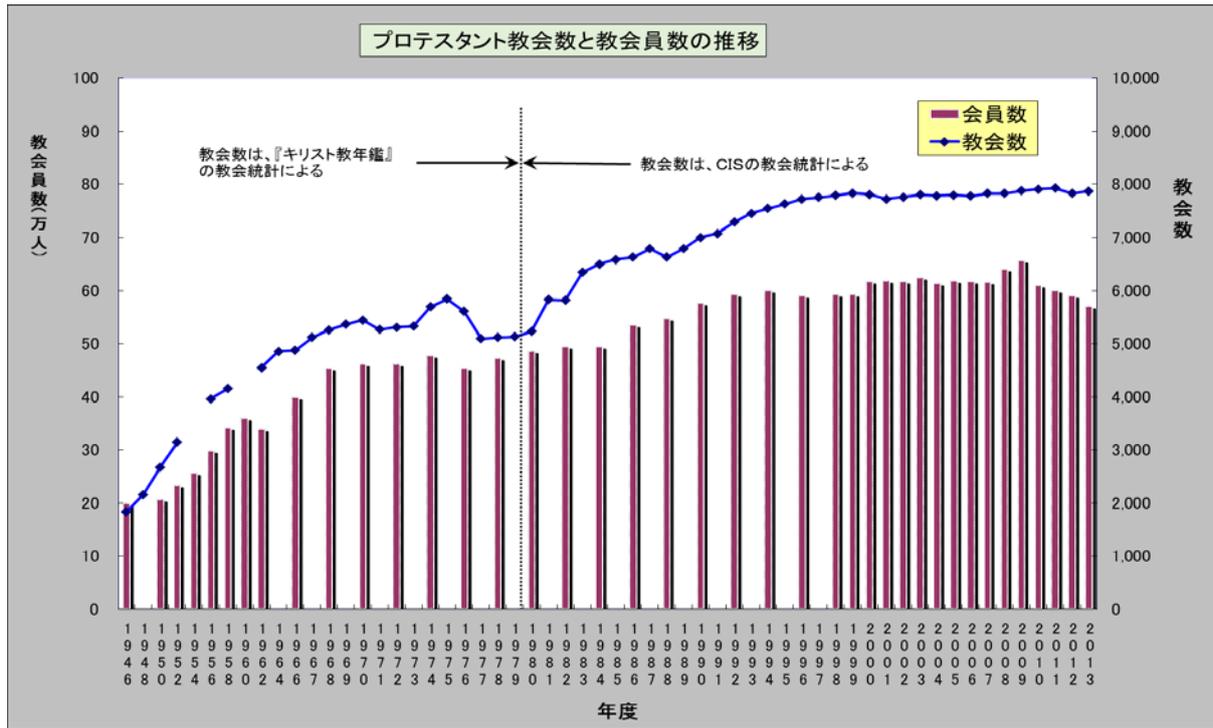
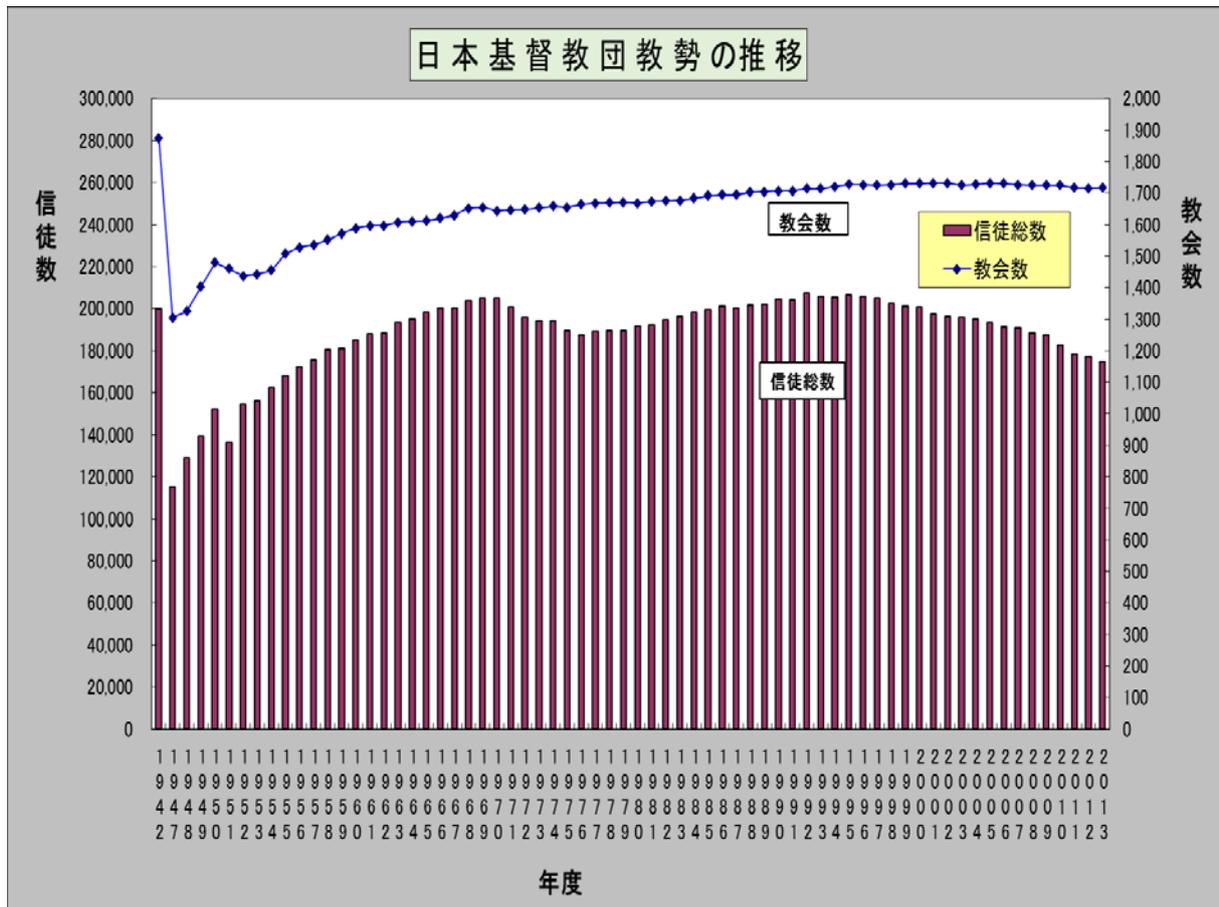


図 3 日本基督教団教勢の推移



### 1. 3 教団・教派の教勢（2013年度）

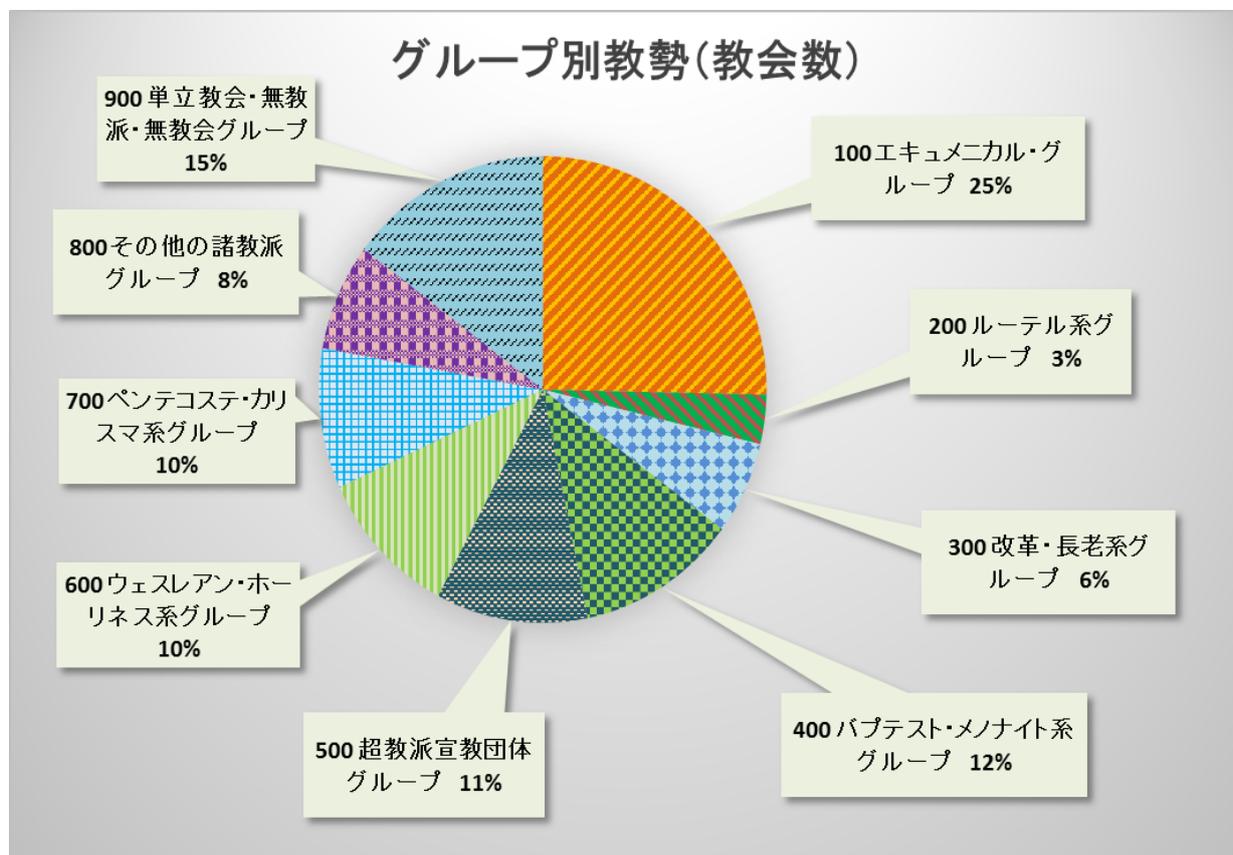
#### 1. 3. 1 全国教団・教派グループ別教勢（2013年度）

各教団・教派グループ別の教勢を、表4および図6に示します。

表4 全国教団・教派グループ別教勢（2013年）

教派コード	教派名	教会数	比率	会員総数	比率	礼拝出席者数	比率
100	エキュメニカル・グループ	2,032	25.4	225,958	36.0	61,298	23.0
200	ルーテル系グループ	274	3.4	33,922	5.4	8,049	3.0
300	改革・長老系グループ	516	6.4	38,079	6.1	19,200	7.2
400	バプテスト・メノナイト系グループ	928	11.6	60,952	9.7	31,489	11.8
500	超教派宣教団体グループ	878	11.0	47,729	7.6	32,321	12.1
600	ウェスレアン・ホーネス系グループ	832	10.4	57,536	9.2	26,558	10.0
700	ペンテコステ・カリスマ系グループ	779	9.7	57,641	9.2	37,104	13.9
800	その他の諸教派グループ	597	7.4	30,316	4.8	19,953	7.5
900	単立教会・無教派・無教会グループ	1,179	14.7	75,466	12.0	30,045	11.3
	合計	8,015	100.0	627,599	100.0	266,017	100.0

図4 全国教団・教派グループ別教勢（教会数）



1. 4 教団・教派別教勢の年度推移（1950－2010 年度）

1. 4. 1 教団・教派グループ別教勢の年度推移（1950-2010 年度）

教団・教派グループ別の 1950 年度から 2010 年度までの教勢の推移を、図 7、図 8、図 9 に示す。各グループとも、教会数自体は増加傾向や横ばいのグループが多いが、教員数や礼拝者数においては、ペンテコステ・カリスマ系グループや単立教会系は増加傾向を示しているが、その他のグループは横ばいか減少傾向を示している。

図 5 教団・教派グループ別教会数の年度推移（1950-2010 年度）

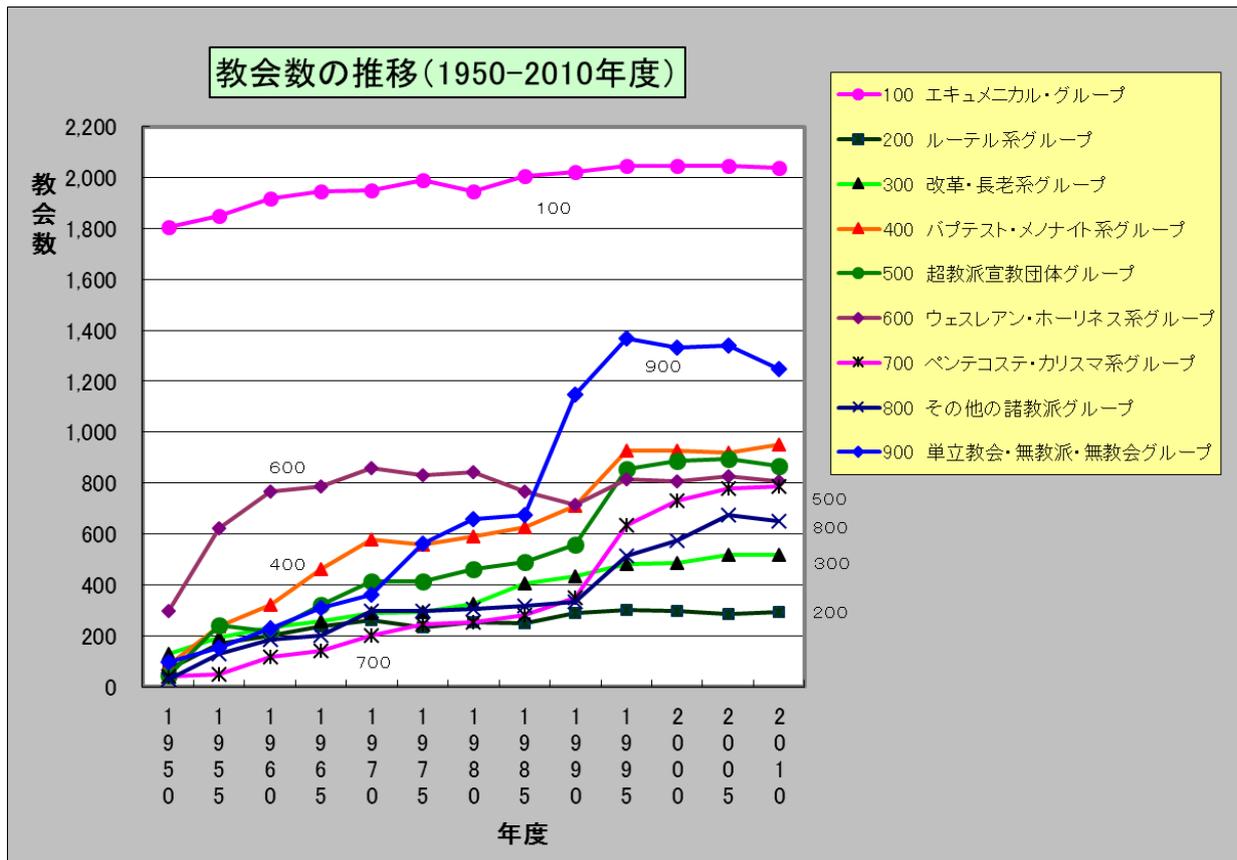


図 6 教団・教派グループ別教会員数の年度推移 (1950-2010 年度)

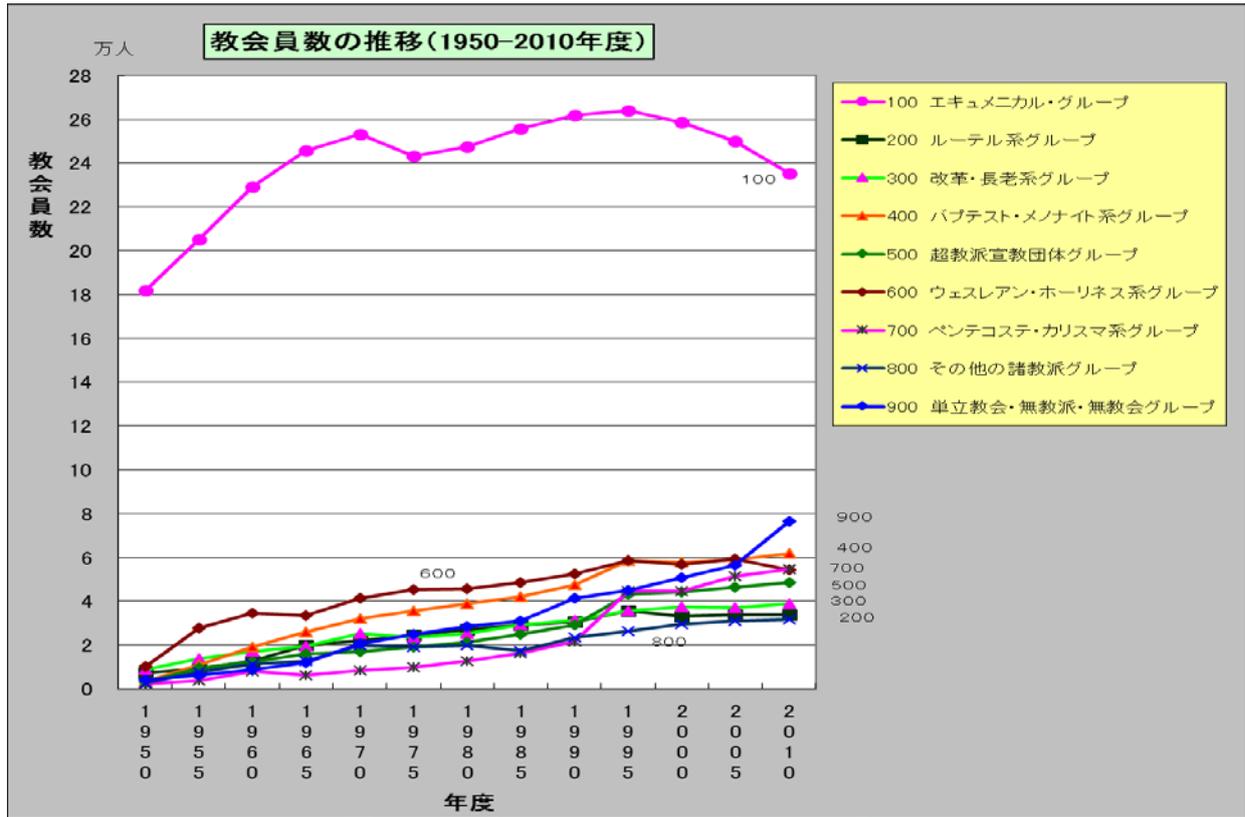
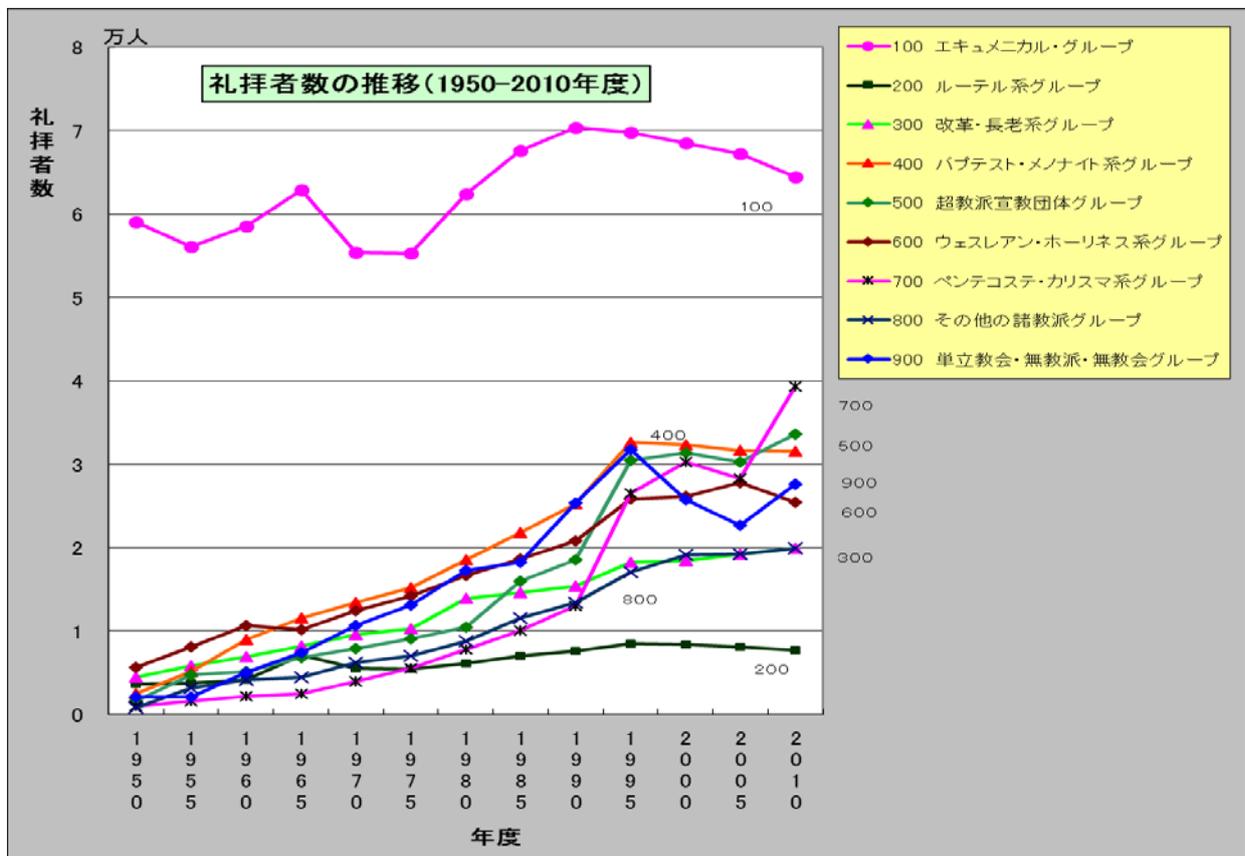


図 7 教団・教派グループ別礼拝者数の年度推移 (1950-2010 年度)



## 第2部 来日宣教師の実状調査

### 2. 1 来日宣教師の現状

現在、日本には非常に多くの来日宣教師団（ミッション団体）が存在し、来日宣教師が多様な働きを行っている。また、組織的に登録されている宣教師以外にも、韓国や台湾等の宣教団体から直接派遣されて活動されている宣教師も存在し、全体としての来日宣教師の総数は正確には掴みきれていないのが現状である。

#### 2. 1. 1 来日宣教師数のデータ

現在、来日宣教師数として公表されているデータとしては、次のようなものがある。

##### (1) 『キリスト教年鑑 2015』（キリスト新聞社）

『キリスト教年鑑 2015』には、カトリック系の団体とプロテスタント系の団体が掲載されている。但し、社団を通じて受け入れた宣教師が働いている団体を一部含むとしている。

表 5 『キリスト教年鑑 2015』による宣教師数

	カトリック系	プロテスタント系	合計
団体数	12	132	143
宣教師数	30	1,567	1,597

##### (2) 『JEMA Directory 2014』（JEMA）

『JEMA Directory』は、毎年、日本福音宣教師団（JEMA：Japan Evangelical Missionary Association）<sup>1</sup> が発行しているもので、福音派に属する宣教団体の宣教師及び日本基督教団と宣教協力を締結している宣教団体等を包含しているが、日本基督教団以外のNCC系やペンテコステ・カリスマ系、あるいは個別の教団・教派や教会が独自に招聘している宣教師は、個人加盟としてごく一部しか含まれていない。

表 6 『JEMA Directory 2014』による宣教師数

	宣教師団体		個人登録	計
	JEMA加盟	JEMA非加盟		
団体数	41	76	—	117
宣教師数	914	619	277	1,810

\* JEMAに加盟している宣教師数の内訳は、次のとおりである。

表 7 JEMAに加盟している宣教師数

JEMA加盟	団体加盟	個人加盟	外国居住	計
宣教師数の内訳	783	109	22	914

また、『日本基督教団年鑑 2015』に掲載されている「宣教師名簿」をもとに、日本基督教団と宣教協力を締結している宣教団体及び宣教師数を表10に示す。

<sup>1</sup> 日本福音主義宣教師団(JEMA)は、福音主義的な宣教師の連絡団体である。1967年に、日本聖書主義キリスト者協議会が活動を停止して、1968年に日本福音主義宣教師協会(EMAJ)と日本福音宣教師団協議会(JCEM)が合同してできた団体である。

1968年に、日本福音連盟(JEF)と日本プロテスタント聖書信仰同盟(JPC)と共に1968年に成立した日本福音同盟(JEA)の創立会員になった。

表 8 『日本基督教団年鑑 2015』に掲載されている「宣教師名簿」

団 体 名	宣教師数
C G M B : Common Global Ministries Board UCC (USA) & CC (Disciples of Christ)	6
M C : Methodist Church (Great Britain)	3
N L C : Norway Lutheran Church	1
P C U S A : Presbyterian Church (USA)	2
R C A : Reformed Church in America	10
S E K : Schweitzer Evangelischer Kirchenbund	2
U C C - J G E R : United Church of Canada, Justice, Global and Ecumenical Relations Unit	3
U C C P : United Church of Christ in the Philippines	—
U M C : United Methodist Church (USA)	17
Brethren Volunteer Service	1
Evangelical Mission in Solidarity	1
全アフリカバプテスト連盟	1
基督教大韓監理会	6
大韓イエス教長老教会	4
韓国基督教長老会	2
在日大韓基督教会	2
台湾基督長老教会	4
シアトル台湾語基督教会	1
スイスバプテスト教会連合	1
計	67

【参考資料】 ある調査<sup>2</sup>によれば、2014年に韓国から日本に宣教師を派遣している宣教団体および宣教師数は、表11のようになる。

表 9 韓国から日本に宣教師を派遣している宣教団体および宣教師数

宣 教 団 体 名	宣教師数			記 事
	男性	女性	計	
Inter C p 宣教会	1	2	3	*超教派（福音主義）団体
C M I	20	19	39	*キャンパス・ミッションズ
G M S	67	68	135	*大韓イエス教長老会合同派
大韓イエス教長老会合神派	9	10	19	
C C C	14	13	27	*キャンパス伝道
パウロ宣教会	11	12	23	
基督教大韓監理会本部	19	18	37	*メソジスト
S E E D 宣教会	5	5	10	
E M M 宣教会	6	7	13	
基督教韓国浸礼会	11	12	23	*バプテスト
計	163	166	329	

<sup>2</sup> 川口牧夫『日韓宣教協力の現状と課題－日本における韓国人宣教師の受け入れを中心として－』（東京基督教大学大学院修士論文、2015）

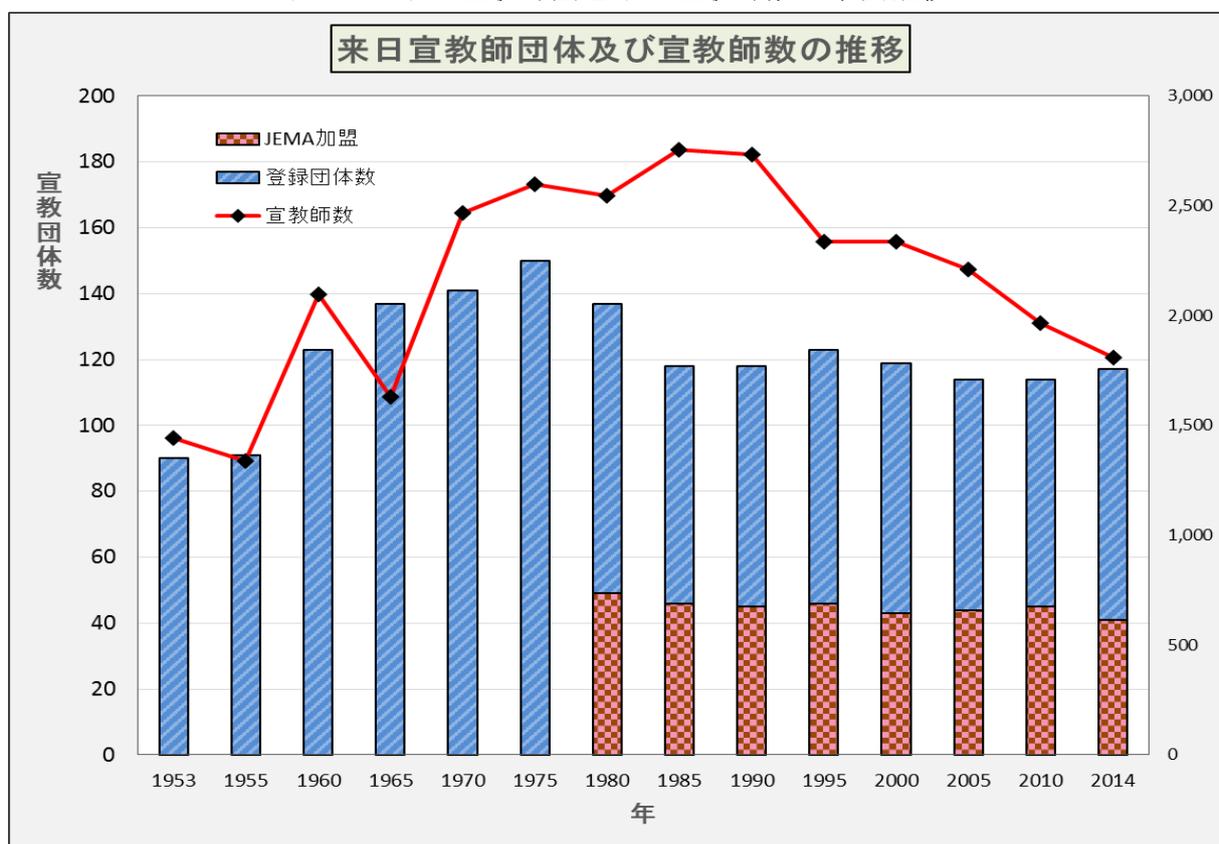
2. 1. 2 来日宣教師の年度推移

1953年～2014年の間に発行された『JEMA Directory』をもとに、来日宣教師団と来日宣教師数の年度推移を、表12と図11に示す。

表 10 来日宣教師団と来日宣教師数の年度推移

年	宣教師団数		宣教師数
	登録団体数	JEMA 加盟	
1953	90		1,442
1955	91		1,339
1958	112		2,413
1964	136		1,461
1970	141		2,467
1975	150		2,597
1980	137	49	2,547
1985	118	46	2,756
1990	118	45	2,732
1995	123	46	2,338
2000	119	43	2,337
2005	114	44	2,209
2010	114	45	1,967
2014	117	41	1,810

図 8 来日宣教師団と来日宣教師数の年度推移



## 2. 2 来日宣教師の実状調査

今回、来日宣教師の実状調査として、日本福音宣教師団（JEMA）のご協力をいただき、『JEMA Directory 2014』に登録されている団体を対象として次のようなアンケート調査を実施した。

### (1) 調査実施対象

調査依頼団体	97 団体	宣教師数	1,240 名		
アンケート回答団体	37 団体	宣教師数	672 名	回答率	54.2%

### (2) アンケート調査内容

『JEMA Directory 2014』に登録されている宣教団宛に、所属する宣教師の氏名、性別、国籍、現在の働き場所（県名）のリストを送付し、それぞれに下記内容の回答を求めた。

- ① 初来日の年
- ② 主としてなされている働き（下記の6種類の分類に従って、該当する働き）  
但し、複数の種別に該当する場合は、主としてなされている方、あるいは重きをおいている方、優先的な働きの方等を主な働きとしていただいた。

<主な働きの種別>

- A. 教団・教派や教会を主体とした教会形成や開拓伝道に関わる宣教の働き
- B. 児童や学生、ビジネスマンや社会人等の特定層を対象としたミニストリ、あるいはキャンプ場や病院、福祉施設、刑務所等の特定の場所における伝道等に従事する働き
- C. 新聞やラジオ・テレビ、あるいはWeb等のメディアや出版・印刷、音楽、映画等を通じた伝道、あるいは制作・販売等に従事する働き
- D. 神学校やクリスチャン・アカデミー、ミッションスクール（幼稚園含む）、英会話スクールあるいは宣教師訓練等における教育的な働き
- E. 海外宣教、国際援助等の団体に関係する働き（事務所スタッフ含む）
- F. その他

以下に、アンケート調査によって得られた回答を集計した結果を、図表にて示す。

### 2. 2. 1 団体別－働き別集計

表13に、団体別に所属宣教師数を主な働き別に集計した表を示す。

図12に、男女別に主な働きの比率を示す。

### 2. 2. 2 国籍別－働き別集計

表14、図13に国籍別来日宣教師数を示す。

### 2. 2. 3 任地都道府県別－働き別集計

図14、表15に、任地都道府県別宣教師数を示す。

### 2. 2. 4 滞在年数の分布

図15に来日した年の宣教師数の分府、及び表16に来日した年代別宣教師の主な働きを示す。

図 9 主な働きの比率

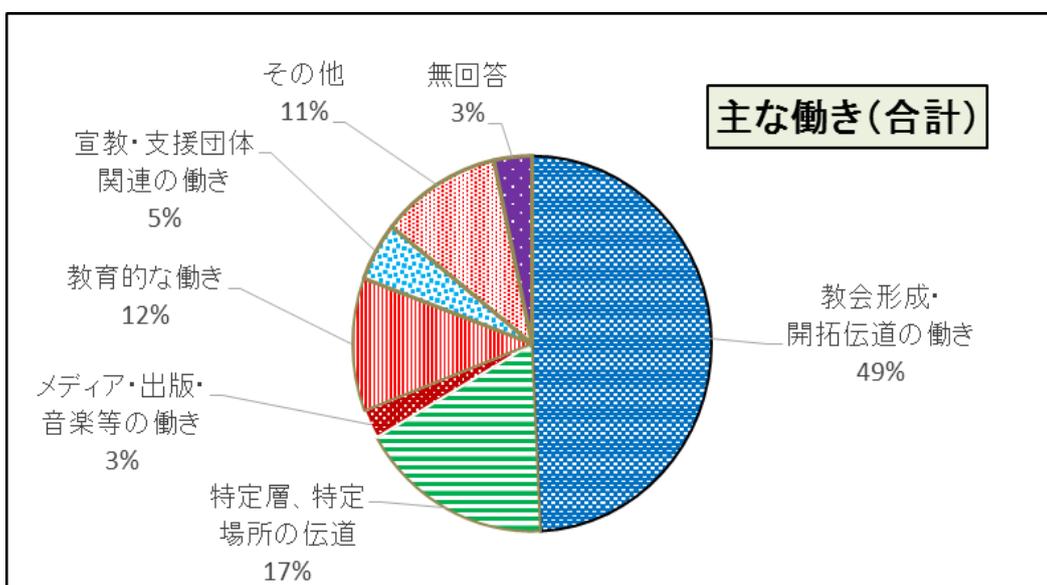
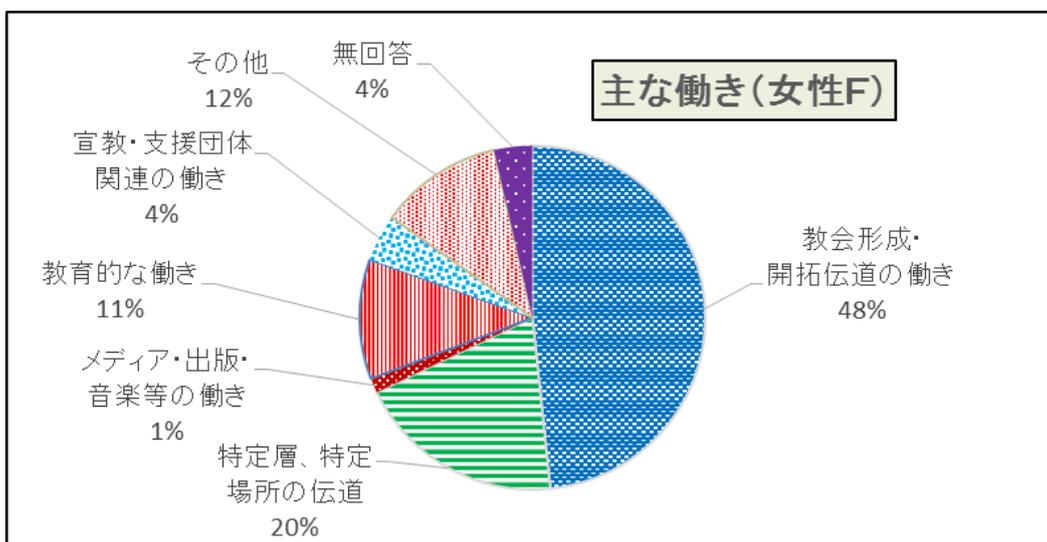
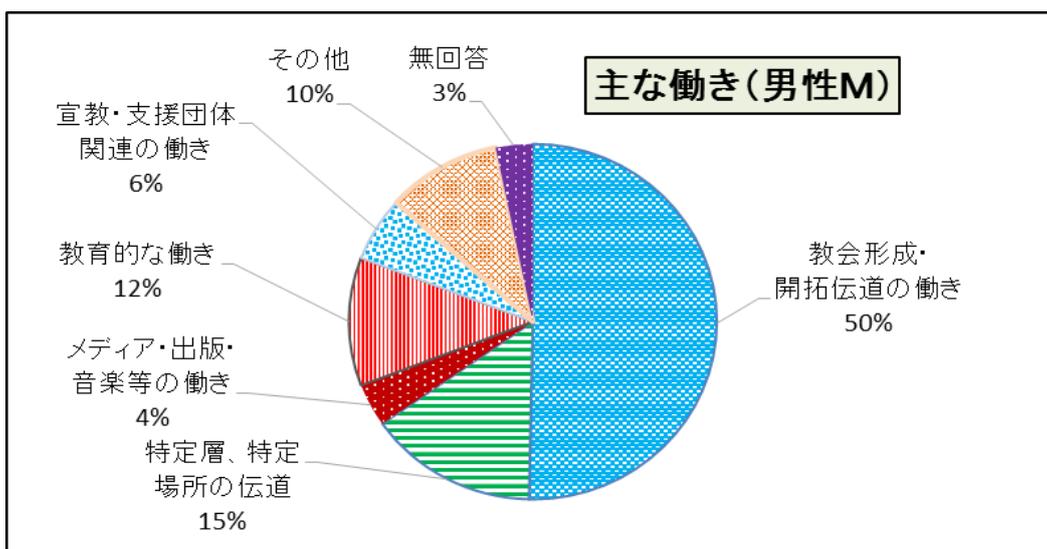


图 1 0 国籍别来日宣教师数

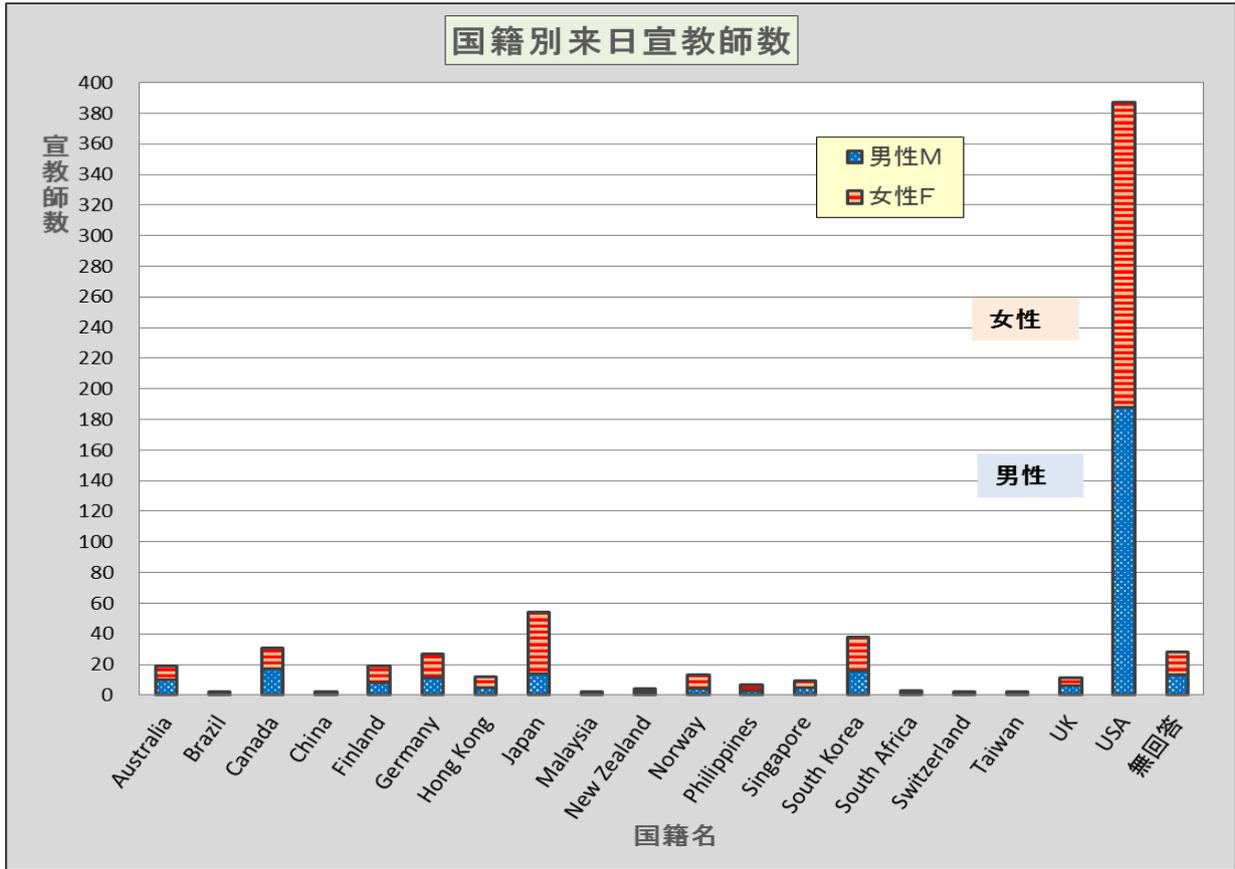


图 1 1 任地都道府県别宣教师数

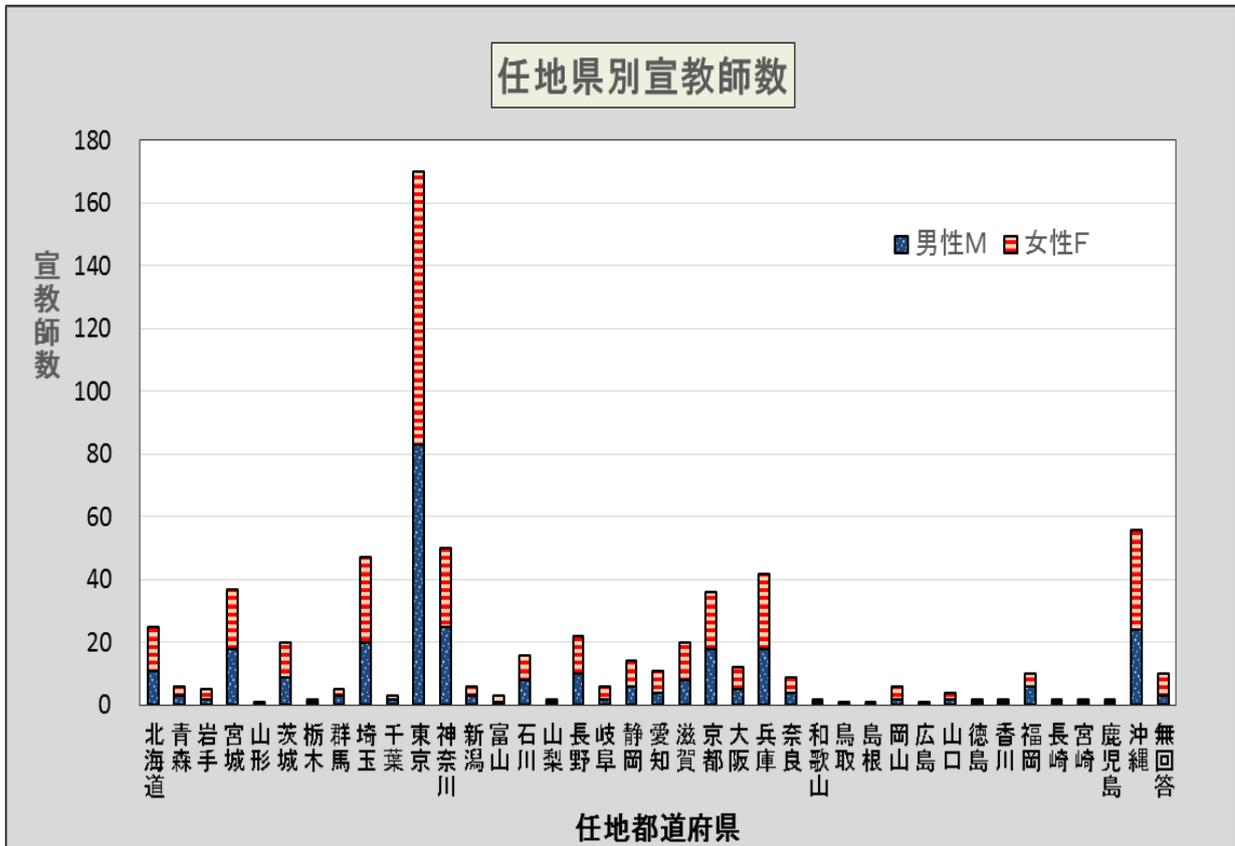


図 1 2 来日した年の宣教師数の分布

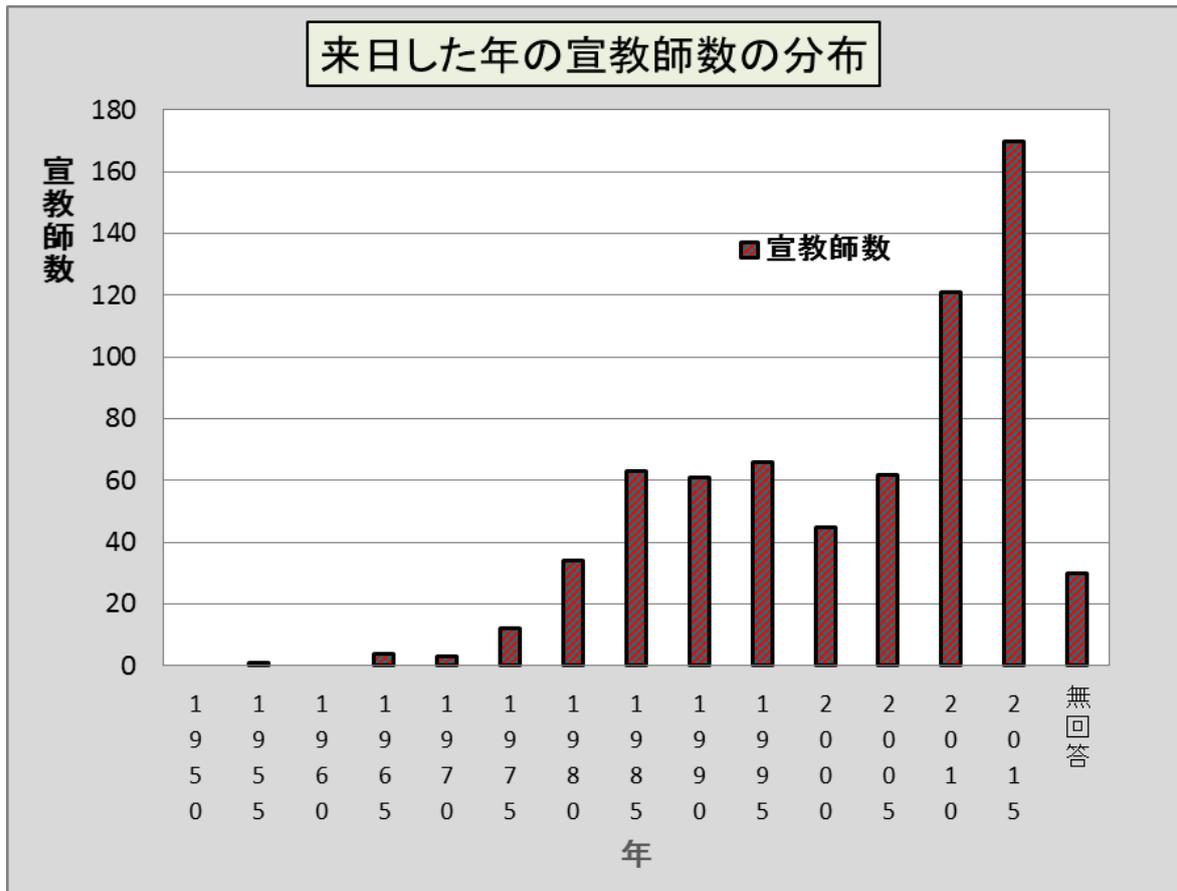


表 1 1 来日した年代別宣教師の主な働き

来日した年 Starting YEAR	Main Ministry							計	
	開拓伝道の働き 教会形成	特定層、特定 場所の伝道	音楽等の働き	メディア・出版	教育的な働き	宣教・支援団体 関連の働き	その他		無回答
～1970	6	2	0	0	0	0	0	0	8
～1980	26	12	1	2	1	4	0	0	46
～1990	62	6	5	14	7	28	2	2	124
～2000	57	24	2	15	10	1	2	2	111
～2010	108	41	2	14	7	11	0	0	183
～2015	67	31	5	32	7	28	0	0	170
計	326	116	15	77	32	72	4	4	642
比率%	50.8	18.1	2.3	12.0	5.0	11.2	0.6	0.6	100.0

## 日本宣教リサーチ発足1年を迎えて

教会インフォメーションサービス（CIS）の働きを引き継ぎ、日本宣教の基礎的研究を行うことになった日本宣教リサーチ（JMR）は、発足から1周年を迎えることができました。CISの支援者が継続してJMRをご支援下さったこと、新しい支援者も加えられたことを感謝いたします。そして、この働きへの期待の大きさを知り、身の引き締まる思いです。

この20年、日本の教会の様相は大きく変化しました。グローバル化の中で在日外国人教会の増加、在外信徒や求道者の帰国、韓国系教会・単立・インターナショナル教会の増加、聖霊派の影響、都市と地方の格差、教会の統廃合など。その中で、まず教勢データの充実した集積が必要です。宣教協力や新たな宣教方針、地域に根ざす教会の形成や文化脈化の理念の検討が求められている中、JMRが少しでも貢献できればと願っています。

2015年度は、東日本大震災被災地における「震災と信仰」調査プロジェクトを実施します。これは、震災を記録すると共に、これからの日本宣教のあり方を被災地の取り組みから学ぼうとするものです。2年目の日本宣教リサーチにどうぞご期待くださり、更なるご支援をお願いいたします。

【賛助会員】「日本宣教リサーチ」の活動は、東京基督教大学に寄付される指定献金によって賄われます。会員には一般賛助会員と特別賛助会員があります。各会員の要件と提供される成果物は以下の通りです。

- (1) 特別賛助会員：趣旨に賛同し、支援してくださる教団・教派、宣教団体等
  - ・一口 30,000 円（何口でも）
  - ・シンポジウムや研究会・研修会等の開催をご案内します。
  - ・毎年 2～4 回「日本宣教ニュース」を提供します。
  - ・毎年 1 回「日本宣教に関する現状と分析」のレポート（詳細篇）を提供します。
- (2) 一般賛助会員：日本宣教に重荷と関心を有する個人、教会等
  - ・一口 2,000 円（何口でも）
  - ・シンポジウムや研究会・研修会等の開催をご案内します。
  - ・毎年 2～4 回「日本宣教ニュース」を提供します。
  - ・毎年1回「日本宣教に関する現状と分析」のレポート（概要編）を提供します

### 日本宣教リサーチへの支援金は、税制優遇措置が受けられます

TCU への寄付金（献金）は、税額控除制度の認定を受けているため、税制上の優遇で還付金が最大で寄付金（献金）額の約 50% となります。

（詳しくは、☎0476-46-1131 「TCI 募金係」までお尋ねください）。

郵便振替口座：00110-5-575648 学校法人 東京キリスト教学園明日の宣教者育成募金

\* お振込みの際には、**本学発行の振替用紙に「日本宣教リサーチ 指定」と必ずご記入ください。**（振替用紙がお手元ない場合はこちらよりお送りいたします。）



## 東京基督教大学 国際宣教センター

### 日本宣教リサーチ 【Japan Missions Research】

〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目 301-5  
学校法人 東京キリスト教学園 東京基督教大学 国際宣教センター内  
TEL : 0476-31-5522 FAX : 0476-31-5521 E-mail : jmr@tci.ac.jp  
<http://www.tci.ac.jp/institution/fcc/jmr>

日本宣教リサーチ代表 山口 陽一（東京基督教大学大学院神学研究科委員長）  
日本宣教リサーチ専門委員 柴田 初男、花園 征夫